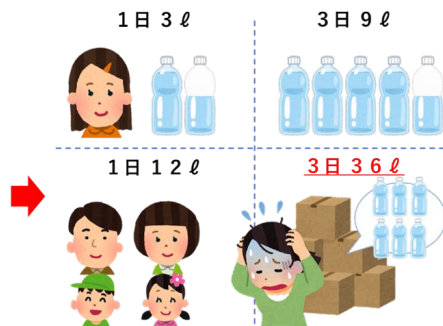


生きるための水、暮らすための水 どちらも絶対必要だね!!



- ・ 大人1人あたり1日3リットルの“水”が必要だと言われています
- ・ 最低3日分で9リットル
- ・ **4人家族では36リットル必要です**
(※これは大変な量です)



防災リュックに一つ入れておけば安心♡
アクアリピュア1箱で220リットルの水ができます。もし、備蓄してある水が持ち出せないときも。



災害時における飲料水と生活用水の備蓄の必要性は非常に重要です。災害が発生すると、水道が止まったり、水源が汚染されたりする可能性があります。そのような状況下では、備蓄された飲料水と生活用水が生命維持や日常生活の維持に不可欠です。

- 1. 生命維持のための飲料水：**人間は数日間水を摂取しないと生き延びることが難しくなります。災害時に十分な飲料水が確保されていないと、脱水症状や健康被害が発生する恐れがあります。
- 2. 日常生活の維持：**水は料理や衛生目的にも必要です。災害時には、水道が止まったり水源が汚染されたりすることがあり、これが長期化すると衛生的な問題が生じます。備蓄された水は、料理や手洗い、トイレの洗浄など、日常生活の維持に役立ちます。
- 3. 応急処置のための水：**災害時には怪我をしったり、病気になったりすることがあります。十分な水があれば、急な応急処置や清潔な傷口の処理が可能です。
- 4. 社会インフラの復旧までの時間：**災害が発生した場合、水道や給水施設の修復には時間がかかることがあります。その間、自己供給が必要となります。

以上の理由から、災害時には飲料水と生活用水の備蓄が不可欠です。家庭や地域の備蓄計画を立て、常に必要な水の量を確保しておくことが、安全で安心な生活を維持するために重要です。

使い方は非常に簡単



川や池、雨水を汲んできたペットボトルに、アクアリピュアを入れます。



キャップを閉めて、約30秒間振ります。



約5分間静置します。



シリコンロートに脱脂綿を敷き、別のペットボトルやコップに置き、処理した水をゆっくりろ過します。



安全な水とトイレを世界中に

SDGs・社会貢献活動として、被災地や発展途上国へ「水の支援」を行っています。

- ・ 日本政府の協力で、きれいな水が飲めないアフリカや東南アジアできれいな水が飲めるシステムを構築しています。
- ・ 海底火山が爆発し被災したトンガ王国やトルコシリア地震で被災したトルコへも援助しました。
- ・ 国内外で災害が発生した地区への援助はこれからも継続していきます。



KGホールディングス株式会社
〒481-0045
北名古屋市中之郷栗島87
電話：0568-25-5888（橋梁技建(株)）



アクアリピュアHP